



こんにちは
市会議員

井坂博文

です

発行/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町78/電話432-3261/F A X 441-4968

人事委員会の勧告は尊重すべき

12月1日、十一月市会補正予算審議の中で職員給与引き上げが議論になった。

今回の給与引き上げは9月におこなわれた京都市人事委員会の勧告(月例給与は据え置き、期末手当は引き上げ)に基づき提案されたもの。

そもそも人事委員会の勧告制度は、地方公務員法において規定され、地方公務員の労働基本権が制約され、民間従業員のように労使交渉によって給与を決定することができないことの代償措置としてつくられたものである。

従って、職員に対して社会一般の情勢に適応した適正な給与を確保するために、公民給与の精確な比較を行い、職員給与水準を市内の民間従業員の給与水準と均衡させることを基本に、国家公務員や他都市の地方公務員などの均衡も考慮し、勧告している。

審議の中で私の質問に、人事部長は上記の勧告の趣旨と意義を述べて、「人事委員会の勧告を尊重して給与引き上げを提案した」と述べ、「給与改定により職員のモチベーションが上がり、市民サービスの向上につながる」「引き上げられた分が消費に回れば、地域経済の活性化にもつながる」と認識を述べた。当然である。

一方で、他党からは「なぜ民間と比べるのか」という制度への不理解の発言や「労働組合との協議状況を議会に報告すべき」と労使関係に議会が介入するように求める意見や「人勧制度には違和感がある」「がんばった局の職員には引き上げ、そうでない職員は引き下げを」という乱暴な意見もだされた。



この発言は常日頃から「身を切る改革」を主張する会派から出された。

北東アジアの平和構築を

5日、「北東アジアの平和構築をどう創るか」と題する学習会が開かれた。主催は京丹後のXバンドリーダー基地に反対する府民の会。

講師は、日本共産党中央平和運動局長の川田忠

明さん。北東アジア問題を語らせたら右に出る者はいない第一人者。楽しみにしていたが、期待にたがわずわかりやすい話だった。

北朝鮮について、北朝鮮の戦略と対話のシグナルを正確に見取り、軍事対決ではなく六カ国協議のテーブルにつかせ、「従来の延長線上にとどまらない外交的対応と、国際社会による制裁の厳格な実施と強化という両面での対応を抜本的に強化する」との指摘はストンと胸に落ちる。



中国問題についてはいろいろあるが、2015年のNPT再検討会議で段階的アプローチを主張し、国連総会での作業部会設置に反対するなど、「核兵器問題についてはもはや平和・進歩勢力の側にあるとはいえず、「核兵器のない世界」に対する妨害者」と規定し、北東アジア平和協力構想を提案している内容を具体的に説明された。

北東アジア問題に関して「目からうろこ」だった。

地域の防災は自らの知恵と力で。



私が住む「紫野学区防災まちづくり」意見交換会が開かれ、町内会長兼防災担当として出席して、ワークショップで真剣かつ和やかに地域の防災の現状と課題を話し合った。

学区もご多聞に漏れず高齢者と独居世帯が増え、一言掛けの必要性が明らかになった。アパートやマンション住人とのコミュニケーションや自治会活動への参加呼びかけを確認。

最近学区内に急増している民泊に対して、機動的な反発や警戒だけではなく、法的な届け出を促しつつ管理者や所有者と話し合いついて町内会への参加呼びかけをしていくことにした。

区役所のまちづくり推進の職員もワークショップに加わり共通認識になったし、防災グッズや清

私のつばやきコーナー

5日付の京都新聞夕刊一面をご覧になりましたか？

京都被爆2世3世の会のホームページが紹介されている。

けっこう紙面をさいて載せてあり、世話人代表の平さんのコメントや北区にお住まいの被爆者花垣ルミさんが紹介されている。

ぜひホームページにアクセスしてください(∩o∩)



掃ゴミ袋への支援などだされた要望を伝えることもできた。

行政責任を狭めたり、疎かにするものでない住民のパワーの発揮が求められている。

京商連と京都市の懇談会

11月22日、民商・京商連の京都市内協議会と京都市との意見交換会が開かれ、仲介した党議員団から14人が同席した。

事前に渡しておいた要望書に基づき行政から行財政局、産業観光局、都市計画局の担当課長が出席してまとめて回答したのちに、項目ごとに質疑応答。2時間たっぷり取り取ってきた。アベノミクス失敗と京都市の経済政策、貧困な中小企業施策に対して業者の実態を告発し、改善を迫る話は説得力があり、引き続き要求運動と議会での追及を進めていきたい。

とりまとめでいただいた産業観光局総務課長ありがとうございました。参加された民商事務局・役員のみなさんお疲れさまでした。

